

## 〔感染症発生動向調査企画委員会情報〕

## 4月報

### インフルエンザ定点（小児科定点を含む）

インフルエンザ 報告1,398件（前月比0.2、前年同月比2.1）で、3月から大幅に減少しました。

### 小児科定点

（全体傾向）

報告数3,799件（前月比0.28、前年同月比0.76）で、3月から大幅に減少しています。多くの疾患でのきなみ減少を認めますが、とくに件数の多いインフルエンザ（前月比0.2）と感染性胃腸炎（前月比0.5）の減少が全体的な減少につながっています。昨年注目された伝染性紅斑は、1月から減少傾向を示しています。一方、流行性耳下腺炎は引き続き高いレベルで推移しています。

（疾患別傾向）

1. RSウイルス感染症 : 報告件数25件（前月比0.2、前年同月比0.4）でした。昨年12月をピークに1月から連続的に減少しており、例年並みの推移を示しています。
2. 咽頭結膜熱 : 報告数77件（前月比0.6、前年同月比0.8）でした。2月、3月は横ばい状態でしたが、4月は減少に転じています。
3. A群溶連菌咽頭炎 : 報告数176件（前月比0.5、前年同月比0.7）でした。1～3月は300件台で横ばい状態でしたが、4月は半減しています。この数年で最も少ない件数です。
4. 感染性胃腸炎 : 報告数1,275件（前月比0.5、前年同月比0.5）でした。1～3月の横ばい状態の推移から4月は半減し大幅に減少しました。その中で有明地区がやや多いようです。
5. 水痘 : 報告数57件（前月比1.0、前年同月比0.4）でした。ワクチン効果で例年よりは少数で推移していますが、1月から毎月50件台でそれ以上の減少がみられません。1歳未満の報告が5件ありました。1歳以上でワクチン未接種の場合は積極的にワクチン接種することが勧められます。菊池、八代地区からの報告が若干多いようです。
6. 手足口病 : 報告数12件（前月比0.9、前年同月比0.0）でした。1月から例年になく少ない件数で推移しています。例年これから増加を認める時期です。
7. 伝染性紅斑 : 報告数126件（前月比0.5、前年同月比3.5）でした。昨年後半から増加傾向を認め例年になく少ない件数で注目されましたが、今年1月をピークに減少が続いています。幼児から学童低学年を中心に、山鹿、宇城地区からの報告が若干多いようです。
8. 突発性発疹 : 報告数119件（前月比0.9、前年同月比0.5）でした。例年より少ない件数ですが、ほぼ横ばい状態で推移しています。
9. 百日咳 : 報告数3件（前月比1.0、前年同月比1.0）でした。地域は菊池2件、天草1件の報告で、年齢的には4歳1件、7歳2件でした。
10. ヘルパンギーナ : 報告数31件（前月比2.4、前年同月比0.5）でした。3月よりわずかに増加を認め、例年よりは少ない件数ですが、例年通りこれから増加していくパターンと考えられます。
11. 流行性耳下腺炎 : 報告数310件（前月比0.8、前年同月比3.5）でした。昨年後半から増加を認め、今年も例年より多い件数で推移しています。増減がありますが減少傾向といえる状態ではありません。山鹿、菊池、八代、有明地区からの報告が多いようです。

## 眼科定点

1. 急性出血性結膜炎： 報告はありませんでした。
2. 流行性角結膜炎： 報告数 71 件(前月比 0.6、前年同月比 1.3)と前月よりも減少しています。地区別では熊本 62 件、菊池 5 件、有明 2 件、天草 2 件の報告です。年齢別では相変わらず 20～49 歳代にピークがあります、全体的には減少傾向にありますが 3～4 歳にも散発していますので保育園等では注意が必要と考えます。

## STD 定点

※平成 25 年 1 月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が 13 医療機関から 16 医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症：  
報告数は 34 件（前月比 0.8、前年同月比 0.5）で、前月比、前年同月比とも減少しています。男女別は、女性に 21 件と多く見られています。年齢別は、男性では 20～34 歳に 9 件と多く、女性は 20～29 歳に 16 件と多く見られています。地域別は、熊本が 27 件と多く、次いで御船、八代、有明に各 2 件、菊池 1 件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症：  
報告数は 14 件（前月比 1.0、前年同月比 1.1）で、前月比では同数、前年同月比では僅かに増加しています。男女別は、女性に 9 件と多く見られています。年齢別は、男性は 20～59 歳、女性も 40～70 歳以上と幅広く見られています。地域別は、八代が 5 件、熊本 4 件、有明、宇城各 2 件、菊池 1 件でした。
3. 尖圭コンジローマ：  
報告数は 4 件（前月比 0.7、前年同月比 1.0）で、前月比は減少し、前年同月比は同数でした。男女別は、男性に 3 件と多く見られました。年齢別は、男性は 25～29 歳、30～34 歳、45～49 歳に各 1 件、女性は 15～20 歳に 1 件見られました。地域別は、すべて熊本でした。
4. 淋菌感染症：  
報告数は 11 件（前月比 0.7、前年同月比 0.6）で前月比、前年同月比とも減少しています。男女別は、男性 10 件と、ほとんどが男性でした。年齢別は、男性は 20～29 歳に 6 件と多く、女性は 20～24 歳にみられています。地域別は、すべて熊本でした。

## 基幹定点

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：  
報告数は 13 件（前月比 0.6、前年同月比 0.7）でした。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：  
報告数は 4 件（前月比 0.8、前年同月比 0.8）でした。
3. 薬剤耐性緑膿菌感染症：  
報告数は 0 件（前月、前年同月と変化なし）でした。

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎： 報告数は 0 件（前月、前年同月と変化なし）でした。
2. 無菌性髄膜炎： 報告数は 3 件（前月比 0.4、前年同月比 1.5）でした。

3. マイコプラズマ肺炎： 報告数は12件（前月比 0.4、前年同月比 2.0）でした。地域は熊本が定点2.0と多くなっています。例年より多い推移です。
4. クラミジア肺炎： 報告数は0件（前月、前年同月と変化なし）でした。
5. 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）：  
報告数は24件（前月比 0.3、前年同月比 0.8）でした。

### 届け出対象感染症

1類感染症	：報告はありませんでした。	
2類感染症	：結核	：22件
3類感染症	：報告はありませんでした。	
4類感染症	：レジオネラ症	：3件
5類感染症	：カルバペネム耐性腸内細菌感染症	：2件
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	：2件
	侵襲性肺炎球菌感染症	：1件
	梅毒	：1件